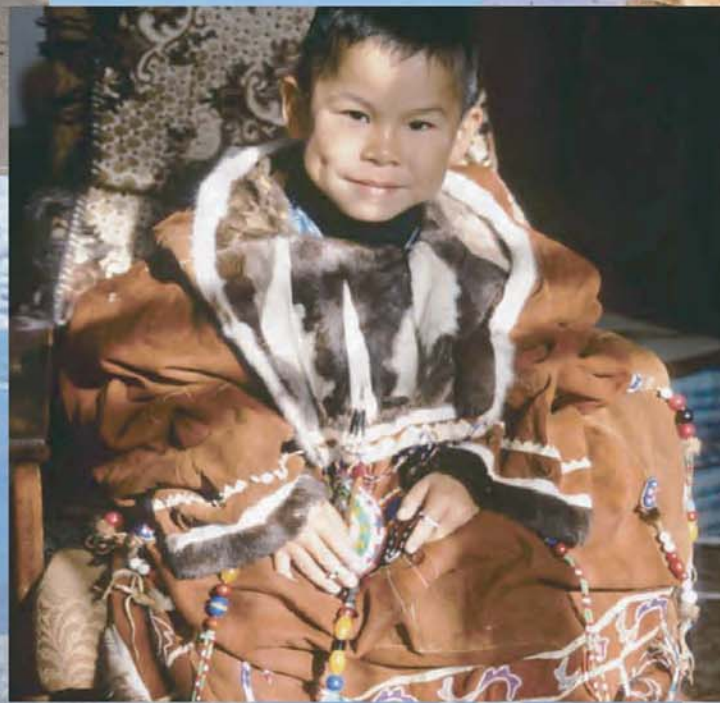


北海道立北方民族博物館 開館20周年記念 巡回企画展

北にくらす子どもたち

Children of the North



2012.7.2 (月)～7.26 (木)

会場 富山大学附属図書館 (富山市五福3190 富山大学構内)

開館時間 / 8:45-22:00 (平日) 10:00-20:00 (土日祝祭日) *ただし7/7,8 は10:00-17:00 入場無料

主催 富山大学人文学部・北海道立北方民族博物館

協力 二風谷アイヌ語教室、渥美一弥、大島稔、風間伸次郎、岸上伸啓、葛野浩昭、久保田亮、呉人恵、
本多俊和 (スチュアート ヘンリ)、関根真紀、高倉浩樹、津曲敏郎、西村幹也、原ひろ子 (敬称略、五十音順)

後援 北日本新聞社



富山大学 人文学部

お問い合わせ先: 富山大学人文学部 担当/呉人恵 kurebito@hmt.u-toyama.ac.jp





富山大学人文学部・北海道立北方民族博物館共催

巡回企画展「北にくらす子どもたち」に寄せて

ユーラシアから北米大陸極北地域にいたる広大な地域には、近代国家による国境が引かれる以前から、多くの先住民が暮らしてきました。草原の遊牧民、シベリアの森林地帯のトナカイ飼養民、北極圏の狩猟民など、生業形態は違っても、いずれも北の厳しい自然環境に独自の創意工夫で適応対処してきた強靱な精神の持ち主たちです。

今回、これら先住民の子どもたちの写真を集めた写真展「北にくらす子どもたち」を、ここ富山大学附属図書館で開催いたします。この写真展は北海道立北方民族博物館が開館20周年記念企画展として平成23年2月10日～4月10日に開催したことに端を発します。その後、写真展は移動展として、東北大学（平成24年1月17日～3月1日）から北海道大学（平成24年4月23日～5月18日）へとバトンタッチされ、それぞれの土地で好評を博してきました。そして、今回、私たちのもとへ、そのバトンが引き渡されることになりました。

今回、展示される写真は、北方地域を研究する日本の言語学者・文化人類学者たちが、長年にわたるフィールドワークのなかで撮影してきた貴重なものばかりです。子どもたちを写すことは、先住民それぞれの未来を写しとることに他なりません。グローバル化の波の中で、辺境での厳しい生活を余儀なくされている先住民たちの未来に、一瞬なりとも希望を見出さんととらえた子供たちの無邪気な笑顔や真摯なまなざしは、見るものに深い感動を与えずにはいないはずです。

この機会に、過酷な自然に対峙した伝統的な生活文化の中で、たくましく生きる北の子どもたちの姿を、広く大学内外の方々に見ていただき、北方に対する関心を深めていただければ幸いです。併せて、北の子どもたちに溢れる天真爛漫な笑顔を日本の子どもたちの今と重ねあわせ、そのあるべき姿を考えていただくよすがとなれば幸いです。

平成24年7月

富山大学人文学部学部長
吉田俊則

